



News from  
Kitanakagusuku  
village council

A Sustainable,  
Progressive and  
Rural village with sunrise views

令和5年  
9月  
定例議会

きたなかぐすくそん

北中城村

議会だより

サステイナブル  
デ  
プログレッシブ  
シテ  
ワカティダ ヲ ハジミ  
セイチョウ ハツテンル  
デンエンブンカ ムラ

キタナカグスク ソン

↑文字の中に言葉が隠れているよ。  
答えは最終ページ。

107号  
2023年  
11月発行

目次

- 特集:あの事業を追え! ..... 2~3P
- 令和5年度補正予算・令和4年度決算質疑  
監査意見、決算歳入歳出状況 ..... 4~5P
- 所管事務調査・政務活動報告 ..... 6~7P
- 一般質問一覧表 ..... 8P
- 一般質問 ..... 9~19P
- 議長の部屋・議会の主な動き・編集後記 ..... 20P

議会HPは  
こちらから  
Check!



~QRコードの読み取り方法~

- (1)カメラアプリや  
QRコード読み取りアプリを起動する
  - (2)カメラをQRコードに向ける
  - (3)表示されたリンクを押す
- ※機種によって操作方法が異なります。

## ② 公営墓地運営業務

### 村民の声



狩俣 富男さん  
島袋在住

親の墓が遠方にあったことから、数年前から住み慣れた北中城村に墓を移したいと思っていた。北中城村が公営墓地を整備するという話を聞き応募した。公営という信頼性もあり安心感がある。今年のお盆も自宅から近い公営墓地でお参り出来て感謝しています。



名嘉真 良治さん  
安谷屋在住

是非、生前の墳墓建立が出来るよう願う。北中城村に住むものとして、安心して最期に眠る場所も北中城村に思っており、子どもには迷惑をかけずに墓を建てたいという考えがある。公的サービスを提供するにあたり多様な意見や要望も汲み取っていただきたい。

### 北中城村公営墓地

沖縄県は他府県と違い、個人墓地を容認してきた経緯から、墓地が散在化し生活衛生並びに景観上の様々な問題が生じていた。

そこで、平成23年3月に「北中城村墓地基本計画」が策定され、住民調査により約5割の世帯で公営墓地が必要ということが明らかになり、墓地、火葬場などの経営の許可などに関する事務が県から市町村自治体に権限移譲されたこともあって、公営墓地の整備が進められていった。

令和4年7月に、北中城村公営墓地は供用開始し、墳墓地、納骨堂、合葬室を備え、墓地や納骨管理が困難な住民に対して、村が使用許可申請その他管理事務などを行うことになった。

墳墓地は全364区画、第1期50区画の7年計画で全区画の整備予定である。

供用開始後、地域住民からの多様な意見があったことから公営墓地整備検討委員会に新たに有識者を招き、より利用者にとって利便性が感じられるよう取組まれている。

議会でも、住民からの多様な意見要望を受け、開園日と開園時間の拡大が図られ、他、駐車スペースの課題や生前墳墓の建立についての要望も多数寄せられている。



## ① 植物ごみ資源化ヤード運営業務

検証レポート

### 村民の声



崎原 こずえさん  
屋宜原在住

自宅の裏に山があり、台風の度に大量の草木が道路に散乱し大変です。ご近所同士で片付けをした草木をトラックで引き取ってくれるので助かります。前もって連絡して袋詰めすれば取りにも来るのでさらに助かります。



安里 喜隆さん  
大城在住

家庭の資源ごみを個人で搬入しているが、木を60cmに切断するなど、住民の手間や費用がかかり、気軽に搬入しにくい。チップは質が良いのでその価格を上げるなど工夫をして、公費で役場やシルバー人材センターがその処理を行ってほしい。



徳村 昌厚さん  
熱田在住 熱田自治会長

資源ごみの活用については、植物ごみが主流だが、ツルヒヨドリなどの課題について、もっと住民に周知する必要がある。また、家庭ごみから排出される油や生ごみなどの活用方法も工夫し、特に排食用油からの生成燃料、生ごみ再生肥料など地域に還元できる仕組みを作り、循環型社会へと進めてほしい。

このコーナーは、「あの事業を追え」ということで、北中城村が進められている事業に対して、事業を進めるにあたっての背景と内容、成果、そして、事業に対する村民の声を集めてみました。

# あの事業を追え!

### 植物ごみ資源化ヤード

平成24年に村直営事業から始まった植物ごみ資源化ヤード運営業務だが令和2年7月から運営方式を変え、EM研究機構が指定管理で運営している。

主に一般家庭や公園、街路から排出される草木などの植物ごみをチップ化し発酵処理することで堆肥の生産を行い、その堆肥は村民に還元している。

直営時の場合の年間草木搬入量が約100トン前後であったものが令和4年の実績では10倍の約1,000トンにまで伸ばしている。

これまでの青葉苑での焼却処分で考えると、処理費用が1トン当たり31,000円前後なので、換算すると約3,100万円の費用対効果が出ている。

しかし、シロバナセンダングサやツルヒヨドリなど搬入できない植物がいくつかあり、また土日祝祭日が定休日なので、搬入植物の枠と営業日枠の拡大が望まれている。

村税

27億821万円

ふるさと応援寄附金

2億3,624万円

令和4年度 一般会計 4億1,775万円 (実質収支)

令和4年度の一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計・下水道事業会計については、決算状況を審査するため、決算審査特別委員会並びに各常任委員会に付託され、質疑、討論、採決の結果、原案の通り全会一致で認定されました。

令和4年度の一般会計の決算額は、歳入総額92億5,628万円、歳出総額88億1,965万円となり、※①繰越財源を差し引いた実質収支は4億1,775万円の黒字となりました。

自主財源の柱である村税は27億821万円で前年度比4.1%の増、ふるさと応援寄附金も2億3,624万円で前年度比3.1%の増になっている。

各会計の決算状況と採決の結果

Table with 4 columns: 区分, 歳入, 歳出, 採決の結果. Rows include 一般会計, 国民健康保険, 後期高齢者医療保険.

Table with 4 columns: 区分, 歳入, 歳出, 採決の結果. Rows include 水道事業, 下水道事業, 収益的収支, 資本的収支.

歳入の状況

◆村税【27億821万円】

個人・法人村民税それぞれの義務者数・申告数の増、新型コロナウイルス特例措置解除等により前年度比4.1%の増。

◆地方交付税【15億1,461万円】

※②臨時財政対策債の減額の影響により、基準財政需要額が増となったことから、財源不足分として交付金が前年度比9.1%の増。

◆国庫支出金【18億6,514万円】

令和3年度の住民税非課税世帯等及び子育て世帯への臨時特別給付金事業が終了したことによる影響で前年度比22.4%の減。

◆村債【1億5,657万円】

国の地方財政施策として※②臨時財政対策債の発行を抑制したため前年度比71.7%の大幅に減。

歳出の状況

◇総務費【19億3,389万円】

※③特定目的基金の拡充及び新設により前年度比8.6%の増。

◇民生費【33億7,955万円】

住民税非課税世帯及び子育て世帯への臨時特別給付金事業の縮小や特定教育保育施設運営負担金(認可保育所)の減少により前年度比7.2%の減。

◇衛生費【7億5,705万円】

主に公営墓地関連工事の完了により前年度比22.8%の減。

◇教育費【10億2,848万円】

島袋小学校増築工事及び北中城小学校防音機能復旧工事の完了で前年度比22.8%の減。

◇補助費等【15億5,314万円】

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業や地域通貨運営負担金、マイナンバーカード普及促進事業の影響で前年度比21.8%の増。

用語説明

- ①繰越財源: 年度内に支出することが出来ない経費について、特別に翌年度1年間に限り繰り越して使用することができる財源。
②臨時財政対策債: 地方財政の不足額を補填するために、地方公共団体が特例として発行してきた地方債。
③特定目的基金: 特定の目的のために資金を積み立てるために設置される基金。北中城村では一般廃棄物処理施設建設基金、公営墓地基金、公共施設整備基金などがある。

監査委員の意見



代表監査委員 島田 聡子

改善・検討事項 (抜粋)

◆契約書の作成について

地方自治法第234条第5項の規定により、地方公共団体の契約は、契約の相手方とともに「契約書」に記名押印しなければならないとあるが、契約の方式については、電子印なども含めて現在多様な様式が取られていることから、契約規則のあり方も含め調査検討し、適切な事務処理を行うこと。

◆財政援助団体について

予算執行状況として、一部、繰越金が多い団体が見られた。昨年度に引き続きコロナ禍の影響で事業の執行が難しい状況が見受けられた。

また、村からこれまで補助金を受け監査対象の32団体中、6団体については補助金申請がなかった。担当課としては、引き続き補助金の活用、実績をしっかりと精査し、積極的に指導や助言を行い、各種団体の保護育成を図り団体の活発な活動を遂行させることを求める。

令和4年度から新たにシルバー人材センターが補助金を受けている。シルバー人材センターについては、会員の獲得、業務の拡大、用具の充実化を図り、円滑な事業運営が図られるよう更なる自主努力が必要である。今後とも担当課における指導・支援の強化を望む。

令和5年度 一般会計補正予算

一般会計補正予算(第4号)・補正額 6億2,424万円
■総額94億3,762万円
一般会計補正予算(第5号)・補正額 100万円
■総額94億3,862万円

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)・補正額 316万円 ■総額2億4,562万円
水道事業会計補正予算(第2号)・事業収益 2,100万円
水道事業費用 20万円
下水道事業会計補正予算(第2号)・下水道事業費用 10万円

主な事業

- 道路街灯修繕費 159万円
北中城村伝統芸能活動団体補助金 100万円
多目的交流施設導入機能調査業務委託料 761万円
基地内文化財発掘調査等委託料 2,278万円

令和5年第6回9月定例議会は、9月8日～26日までの19日間の会期で開かれました。

村提出議案は、条例の改正補正予算など、認定5件、報告4件、同意6件、議案9件、審議の結果、全て原案の通り可決しました。尚、一般質問は11名の議員が登壇し行政を質しました。



決算特別委員会において様々な質疑が行われました。抜粋要約して掲載しています。

令和4年度決算 ここを 問う!

- 徴収努力が必要
問 村税の収入未済額が前年度比で増えているが。
答 所得の急増及び特別徴収から普通徴収へ異動者の増が要因で、固定資産税は、土地の評価替えによる調定増が主な要因。
「コロナ禍で実施できなかった戸別訪問や財産の差し押さえも強化する。」
問 DOTEプログラム(オンライン上での英語学習)の事業費が上がっている。出席率も低いがどう考えているか。
答 事業委託料が為替の関係で上がっている。出席率も芳しくないのが現状。後検証が必要。
問 相談支援にどう応える
答 相談支援事業の実績は。
問 PFASの対応はどうか。
答 PFASの対応は、今年に2回、PFASの検査を瑞慶覧配水系、島袋配水系、基地配水系、安谷屋配水系、喜舎場・仲順配水系、大城配水系、熱田配水系の末端部で実施している。
問 どれくらいの数値になっているか。
答 1ナノグラム以下になっている。
問 外国では0.004ナノグラム以下に抑える話も出ている。
問 水質検査業務についてPFASの対応は。
答 PFASの対応は、今年に2回、PFASの検査を瑞慶覧配水系、島袋配水系、基地配水系、安谷屋配水系、喜舎場・仲順配水系、大城配水系、熱田配水系の末端部で実施している。
問 どれくらいの数値になっているか。
答 1ナノグラム以下になっている。
問 外国では0.004ナノグラム以下に抑える話も出ている。

この件は全国的な問題になっているが、国の動向はどうなっているか。
答 年内もしくは年度内に何らかの方針、水質基準が国から提示されるのではと聞いている。
※PFAS(ピーファス)とは、4730種を超える有機フッ素化合物の総称で、自然界で分解しにくく人体への有害性が指摘されている。消火剤やフライパンのコーティング剤として使われてきた。国内でも2021年までに法令で製造と輸入を原則禁止した。しかし、日本各地の河川や地下水から検出され、特にPFAS汚染が深刻なのが沖縄と言われており、国、行政に対して詳細な調査や対策強化を求めている。

## 政務活動費活用の研修及び調査報告

**視察期間:** 令和5年2月21日(火)～22日(水)

**研修場所:** 久米島町役場、島内施設視察

**研修内容:** ①海洋深層水を活用した事業の取り組みについて  
②ふるさと納税の取り組みについて  
③民泊事業の取り組みについて

**研修目的:** 地域の資源や繋がりを活かした取り組みを進めている久米島町を視察し、本村の今後の事業等へ活かすため、直接、担当職員と意見交換を行う。

**参加議員:** 比嘉義彦議長、喜屋武すま子副議長、比嘉義弘議員、上間堅治議員、屋良朝春議員、川上龍太議員



●川上龍太議員  
本村でも、やり方次第では取り入れることが可能だと感じた。村役場、地域、各種団体が連動することにより、良い相乗効果が期待できる。

●比嘉義弘議員  
久米島在住の外国人と連携した取り組みが素晴らしく、我が村も研究する必要がある。

③民泊事業の取り組みについて所見

●屋良朝春議員  
ほとんどが久米島産の商品で、我が村も自村生産に力を入れて久米島町のように納税額をそのまま行政に反映させたい。

●比嘉義彦議長  
本村同様、県内外へのイベント参加やSNSを活用した情報発信であるが、町長自ら広告塔になり情報発信していることは素晴らしい。

②ふるさと納税の取り組みについて所見

●喜屋武すま子副議長  
世界は、地球温暖化で将来のエネルギーや水不足、食糧難への備えが課題となっている。久米島町での試みは、この島の意気込みとたゆまない努力に力強さを感じた。

●上間堅治議員  
実証実験を民間企業、大学と取り組み、事業化することにより町の雇用拡大に繋げる取り組みを行い、雇用に対しては外国人も考えているとのこと。



**視察期間:** 令和5年2月6日(月)～7日(火)

**研修場所:** 地方議員研究会(東京都千代田区)

**研修内容:** 自治体財政  
①財政基礎(歳入編)  
②財政基礎(歳出編)  
③財政健全化のための基礎的課題

**研修目的:** 研修を通し議員個々の資質向上と学んだ内容を本村の事業等へ活かすため。

**参加議員:** 名幸利積議員

### 自治体財政の所見

●名幸利積議員

今回の研修で改めて自治体財政の重要性を再認識することが出来た。講師は財政を家計に例え「地方税は(給与)、地方交付税や国庫支出金は(仕送り)、地方債は(借金)」と理解しやすかった。地方交付税では、地方税との関係で「単に交付税に頼らない自治体が望ましい」と考えていたが、その理由は「留保財源」にあり、その先に「交付税に頼らない自治体が望ましい」ということを再確認できた。

議員初当選の頃は行財政改革の頃で、おのずと行政、議会、村民が村財政に関心が寄せられていた。しかし、時が経つにつれその関心が薄れて来たように感じる。コロナ禍で様々な交付金等が地方に分配されたが、その多くが借金。そもそも世界一の借金大国の日本。今後も防衛費増額の財源も増税で、国民に負担が重くのしかかってくる。そんな中、どう財政をやりにやり繰りして住民サービスを停滞させることなく継続させていくのか、執行部だけではなく我々議会もその判断が問われる。議会で予算や決算を審査する場合、新規事業やハード事業に目を奪われがちだが、もっと財源や性質にも注視していかなければならないことを学んだ。

## 議員全員による 研修会

議員全員協議会

(研修事項)

### ※NFTを活用した ふるさと納税の拡大策

■研修日: 令和5年10月11日

■研修場所: 北中城村役場大会議室



□概要:

令和5年の10月からふるさと納税のルールが改正され、返礼品は付随費用も含めて寄附額の5割以下に抑えられる。これまでも送料負担で厳しい環境にあった沖縄・離島地域においては、ふるさと納税受入額の拡大は大きな課題であった。

そこで、NFTを利用したデジタル住民票を発行し関係人口(関わる人)を増やし、返礼品だけの関係性だけでなく、村づくりへの参画や体験、観光などを通して関係性を深めて人流を生んでいく。そこから開発予算を創出し独自の経済システムや資金循環を生み出していくという新しい地方創生の試みになるという内容でした。

また、その仕組みで得た財源で、村が抱える課題や新たな事業にも振り分けて進めていくことが出来るという一石二鳥の取組みでした。

※NFTとは、「Non-Fungible-Token」代替不可能な認証デバイスという意味を持ち、デジタルデータに資産価値が付きそれを取引する。

## 常任委員会の 所管事務調査

建設文教常任委員会

(調査事項)

### 令和5年8月の 台風6号の被害状況

■調査日: 令和5年9月15日

■調査場所: ①北中城中学校体育館ドア  
②グラウンド・フェンス

■説明者: 教育総務課長  
教育総務課職員2名

■調査日: 令和5年9月20日

■調査場所: ③北中城村漁業組合貯蔵施設屋根  
④貯蔵施設裏手ドア  
⑤しおさい公苑東側フェンス  
⑥村道南部延伸線167号線  
植栽とカーブミラー

■説明者: <③④> 農林水産課長  
農林水産課職員2名

<⑤⑥> 建設課長、建設課職員3名



□概要:

令和5年8月2日に本島に接近した台風6号はいったんは通過したものの再度本島に上陸し県内各地域や北中城村でも多くの被害をもたらした。

今回調査した被害箇所は、台風の影響もあるが、構造物が老朽化していたことも被害を大きくしたといえる。

北中城中学校グラウンド・フェンスは全て倒れていた。漁業組合貯蔵施設は屋根の半分が飛ばされていた。

また、しおさい公苑フェンスは長さ70mにわたってなぎ倒されていたが、安全上すぐに修繕されていた。



詳細は  
動画から  
チェック!

## 本村指定ごみ袋へ 取っ手の取り付けを

■ 村長 手数料の改定も含めて検討していく

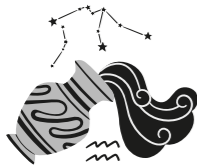


ひが まさし  
**比嘉 正志 議員**

星座  
みずがめ座

血液型  
A型

居住地  
喜舎場



**用語説明**  
※廃棄物減量化推進審議会とは、一般廃棄物の減量及び処理に関する事項について村長の諮問に応じ調査、審議する。村民・事業者・学識経験者・村職員等10名以内の委員で構成される。

**答** 高齢者の方々から取っ手付きごみ袋への問い合わせが何件か来ている。ごみ袋の手数料の改定も考えられているので、廃棄物減量化推進審議会の意見等を踏まえながら検討していきたい。

**問** 沖縄市のごみ袋と比較した場合、横幅は短いものマチがついており膨らむようになっており取っ手が付いているので縛りやすい。変更する事に抵抗のある住民もいるかと思うが、取っ手付きごみ袋への移行は賢明ではないか。

**答** 中部地区で指定ごみ袋に取っ手が付いていない市町村は、北中城村のみ。

**問** 中部地区で指定ごみ袋に取っ手が付いていない市町村は、



内容量は取っ手が付いてもほとんど変わらず

**問** 慣れ親しんだごみ袋から取っ手付きごみ袋へ変える時に住民の不安や懸念も理解できる。住民の意見を聞く、そういう場を設ける必要性は。

**答** ごみ袋手数料の改定と取っ手付きへの変更も含めて住民懇談会を開催して話を聞きたいと考えている。

**問** 今回の停電が長引くような災害があった場合、村内に在る施設ホテルのスパや、スポーツジムの入浴施設の使用に助成金を出したり、村民体育館のシャワー室を無料開放したり出来るか。

**答** 関係機関に所有者情報等を調べるといいう手続き等もありますので、今後、自治会長会で検討していく必要がある。

**問** 8月4日に役場会計課前に充電ステーションの設置と、トイレ開放を行った。

**答** 課前に充電ステーションの設置と、トイレ開放を行った。

**問** 沖縄市では充電ステーションを設け市民に携帯電話の充電等のサービスを行ったようだが本村の対応は。

**答** 茨道地区で8月1日明け方から8月7日14時頃までと聞いている。

**問** 村内で最も長時間停電した地域は。

**答** 包括協定の中で、そういった施設の提供は可能だと思う。

**問** 土地の所有者が分からない場合に村当局は所有者の情報を自治会長へ情報提供できるのか。

**答** 土地の所有者本人以外には情報提供していかない。

**問** 土地の所有者情報が分かるところに対しては自治会長が対応する。所有者情報が分からないところに対しては村当局で対応し、その後、自治会長へ情報提供を行う。このような対応は可能か。

**答** 関係機関に所有者情報等を調べるといいう手続き等もありますので、今後、自治会長会で検討していく必要がある。

# 村政を問う!

令和5年9月 定例議会

一般質問者

14名中、11名が登壇しました



インターネット中継 録画配信もやっています  
議会に来ませんか

- 村の様々な取組や課題等について、議員が提案も含めて、村に考えを聞くのが「一般質問」
- 一般質問の議会要約文は本人執筆、議会広報委員会でチェックして掲載
- 各議員氏名上のQRコードから動画がご覧いただけます

<p><b>比嘉 正志 議員</b></p>	<p>①喜舎場地区の地すべり区域等に関して ②放置車両について ③中部広域都市計画区域への移行等に関して</p> <p>→ 14P</p>	<p><b>比嘉 正志 議員</b></p>	<p>①台風6号への対応について ②指定ゴミ袋へ取っ手の取り付けについて ③空地の環境整備について</p> <p>→ 9P</p>
<p><b>屋良 朝春 議員</b></p>	<p>①村道の街灯について ②#8000について</p> <p>→ 15P</p>	<p><b>比嘉 悟 議員</b></p>	<p>①ハワイとの姉妹都市締結について ②小学校英語教育について ③役場職員の業務と人員配置について</p> <p>→ 10P</p>
<p><b>山田 晴憲 議員</b></p>	<p>①放課後児童クラブについて ②認可(外)保育施設について ③中学生通学バスについて ④小学生通学バスについて</p> <p>→ 16P</p>	<p><b>喜屋武 功 議員</b></p>	<p>①火葬需要増への対応について ②あやかりの杜施設の利用について ③統計課の設置含め統計業務の充実化について ④村キャラクターマスコットの効果と検証について ⑤北中城村オーガニックビレッジ宣言</p> <p>→ 11P</p>
<p><b>平安山 和美 議員</b></p>	<p>①若年妊娠について</p> <p>→ 17P</p>	<p><b>大城 律也 議員</b></p>	<p>①地域住民に親しまれる地区公民館の運営について ②災害時の高齢者の避難対応について ③ハワイ・マウイ島火災支援について</p> <p>→ 12P</p>
<p><b>喜屋武 すす子 議員</b></p>	<p>①学校給食費無償化について ②上原山(イイバルザン)の土砂災害について ③昼食時間(昼窓業務)の業務の拡大について ④観光周遊バス実証実験について</p> <p>→ 18P</p>	<p><b>上間 堅治 議員</b></p>	<p>①ごみの減量化 ②避難所開設のあり方</p> <p>→ 13P</p>
<p><b>川上 龍太 議員</b></p>	<p>①小中学校の部活動・スポーツ団について ②学校給食の運営状況について ③NFTを活用した新たな地方創生について</p> <p>→ 19P</p>		



詳細は動画からチェック!

# 火葬需要増への対応急げ

## ■ 村長 広域火葬場建設に向けて検討したい

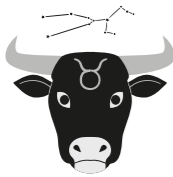


きゃん いさお  
**喜屋武功 議員**

星座  
おうし座

血液型  
A型

居住地  
島袋



**問** 先日、宜野湾市と意見交換会を行った。村としても広域火葬場建設に向けて検討していきたい。

**答** 先曰、宜野湾市と意見交換会を行った。村としても広域火葬場建設に向けて検討していきたい。

**問** 現状として、安置費で1日1万円から2万円、ドライアイス代1日1万円から1万5千円。それに火葬料があるが燃料高騰で上がっている。通常葬儀代100万円、家族葬で50万円



需要が増えている火葬施設

を加えると、120万円から150万円となっている。火葬場を持っている自治体に対して、予算措置も含めて予約枠の緩和など、私なりにアプローチしている。その点しっかりと当局も話をま

**問** 日本はOECD加盟国中で農薬の使用率は1位、食品添加物の許可数、使用料も1位、言わば農業立国だ。しかし、農林水産省は2050年までに、国内の有機農業の取組面積を全農地の25%に拡大すると目標値が設定された。

**答** 既存の施設を保有している市町村との協議についても議員のおっしゃる通りにそれに向けて努力していく。

**問** その他に、あやかりの杜施設の利用について、統計課の設置含め統計情報充実について、村キャラクターマスコットの効果と検証について質問をします。

**答** オーガニックに対する土壌が根付いていないことが懸念されるのでなかなか踏み込めないが、EM研究機構が農を活かした健康・福祉の里事業の中で、オーガニックにこだわったことを展開していくと思うので、そういったものが醸成されれば、我々も一緒にいけるのではと思う。

詳細は動画からチェック!



# ハワイとの姉妹都市締結のチャンス

## ■ 村長 絶好の好機だと考える



ひが さとむ  
**比嘉悟 議員**

星座  
おとめ座

血液型  
AB型

居住地  
仲順



**問** 村長公約の一つに、ハワイとの姉妹都市締結があるが、これまでの進捗状況は。

**答** 具体的な進捗は今のところない。

**問** 村長が就任し、今年12月で3年が経過する。ハワイとの交流を期待していた子、学ぶことのできる大事な時期に公約が進んでいないことをどう思うか。

**答** 大変申し訳なく思う。平成10年から3年間、我が村のALT講師だった、シャリーさんをご存じか。



SDGsの目標番号4

**問** 先月8月にハワイで起きた山火により、甚大な被害が出た。北中城村

**答** 非常に絶好の好機だと考える。

**問** 2018年、高校2年生だった息子が、ハワイへホームステイに行った際、奇跡的にシャリーさんに会うことが出来た。その当時、ハワイ州の副知事室で勤めていた。今現在もハワイ政府で勤め、第9代ジョシユグリーンハワイ州知事のファーストレディのエグゼクティブアシスタントです。我が北中城村と縁とゆかりのある方が、ハワイ州知事の近くで働いている。これは姉妹都市締結に向けた、前進する絶好のチャンスだと思いませんか。

**問** 担任なので英語専科ではない先生もいて、得意な先生ではクラスによって差が出る。そうするとSDGsの目標番号4「質の高い教育をみんなに」とは程遠くなる。そこで提案する。生徒の親御さんに外国の方を見かける、その方たちにボランティアで支援に入ってもらいたいとはどうですか。

**答** ALTはあくまでも補助、小学校では担任が基本的に授業を進めていく。

**問** 進める授業、本村の状況は。

**答** 義援金等について措置していきたい。

### 小学校英語教育は

**答** 学校長ともすり合わせしながら、可能なら進めていきたい。

### 役場職員の業務と人員配置は

**問** 9月1日現在、13名の休職者の補充は配置されているか。

**答** 補充は行っている。

**問** 内閣府の男女共同参画局が提唱しているワークライフバランス、職員の仕事と生活の調和はどうか。

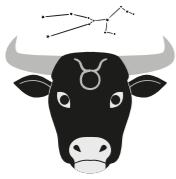
**答** 職員の精神的な環境衛生が、職務の遂行、効率性にも繋がる。今後職員のメンタルヘルスには気をつけ、職員との交流も深めていきたい。

用語説明  
※ALT講師とは、ALTアシスタント・ランゲージ・ティーチャー(英語指導助手)。



うえま けん心 上間 堅治 議員

星座 おうし座  
血液型 O型  
居住地 島袋



**用語説明**  
※植物ごみ資源化ヤードとは、株式会社EM研究機構が北中城村より指定管理業務を受け、村内島袋の「北中城村植物ごみ資源化ヤード」において、村内の住宅や公共施設から出る木枝などを受け入れ木材チップや堆肥にして資源の循環を行っている。

## ごみ減量化の取り組みは

### ■ 村長 ※植物ごみ資源化ヤード等の利用促進を図っている

**問** 引き続き植物ごみ資源化ヤードの利用促進、生ごみ処理機の奨励を図っている。実験的に古

**答** 生活に密接した環境問題である。北中城村では草木の資源化を実施し、今年度からは民間企業と連携し、生ごみを活用したバイオマス発電の事業など先進地的な取り組みを行っている。しかし昨年、地方創生交付金を活用してごみ袋の配布を行いました。村民にごみをどんどん出してもかわらないと誤った情報を与えているのではないかと質問しましたが村長の答弁では、減量化については他に出来ることがあるとのことであったが、減量化についての動きはどのようにしているのか。

**問** 植物ごみ資源化ヤードの利用促進とある

紙、古布回収をビニール袋に入れることにより天気に左右されない回収方法も行っている。



活用強化が必要 植物ごみ資源化ヤード

**答** ホームページに掲載や、常に広報を通してPRを行っている。

が具体的な取り組みが見えない。昨年11月から今までの取り組みは。

**問** 草木の一般家庭からの収集は毎週木曜日である。収集日を増やす考えはないのか。

**答** 広報や自治会会長でも周知を行っている。まだやるべきことがあるなら他に考える必要もある。

**問** 受け入れる量は増やす施策はまだある。可燃ごみの日に家庭から草木のごみ出しが多く見受けられる。そこを植物ごみ資源化ヤードへ行くよう周知出来ないか。

**答** 受け入れる余地は十分ににある。

**問** 植物ごみ資源化ヤードの活用状況について。まだ受け入れ可能か飽和状態なのか。

**答** 今後、回収日の検討もある。重要なのは住民に対し周知を強化していきたい。

**問** 植物ごみ資源化と考えると家庭から出る生ごみをバイオマス施設で受け入れる出来ないか。

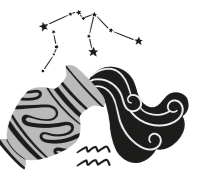
**答** 現在のところ設定している事業所からの受け入れのみ検討している。個人宅からの受け入れに関して必要があれば事業者との打ち合わせが必要と考える。

■その他に避難所開設の在り方について質問をしました。



おおしろ りつや 大城 律也 議員

星座 みずがめ座  
血液型 A型  
居住地 熱田



**用語説明**  
※公民館とは、子どもから高齢者までの方々が文化・教養、地域課題等を学んだりして、生きがいや健康づくり、仲間づくりなどを目的とした社会教育法に基づき施設。

## 災害時の高齢者の避難対応

### ■ 村長 災害時の情報伝達は重要な課題である

**問** 台風6号でも、本村は災害に関する精力的な情報発信が行われた。しかし、高齢者世帯での通信手段は、情報が得られないという状況もある。要支援者がどれほど必要な情報にアクセスできたのか疑問が残る。今後、災害情報の伝達はますます困難を極める。災害弱者は情報弱者でもある。情報伝達のあり方について早急に検討すべきである。

**答** 高齢者等へ、災害時の情報伝達は重要な課題である。リスクの高い高齢者世帯等へ、台風接近の場合は早めの避難を促したり、短



台風6号避難者に準備されたテント(村立中央公民館)

**問** 「まなぶ」むすび」の基本的な役割がある。公民館が、地域住民の交流の場、憩いの場として日常的に利用されるために、ロビー、談話室、施設のバリアフリー化などの設備が整備され、気楽に集い、語り合うことができるよう住民に開放されていることが大切である。

**答** 各字における公民館の整備等については、村予算やコミュニティ助成事業などを活用し、地域活動

**問** 公民館は、地域住民の学びの拠点である。地域の諸活動を支える機能を十分に果たすためには、公民館職員の常駐及び常時開放が不可欠である。各公民館が超高齢化時代に応じた役割を十分に果たすことができれば、行政の適切な支援が必要である。

**答** 公民館における施設利用については、地域

**問** 公民館は、地域住民の学びの拠点である。地域の諸活動を支える機能を十分に果たすためには、公民館職員の常駐及び常時開放が不可欠である。各公民館が超高齢化時代に応じた役割を十分に果たすことができれば、行政の適切な支援が必要である。

**答** 公民館における施設利用については、地域

の方々が様々な利用し、利用時間についても様々なあると認識している。常駐と常時開放については、各自治会の要望や住民ニーズを踏まえて今後、研究したい。

■その他に、ハワイ・マウイ島火災支援について質問をしました。



詳細は動画からチェック!

# 小児科の負担軽減策 #8000を周知せよ

■ 村長 説明も十分にしている

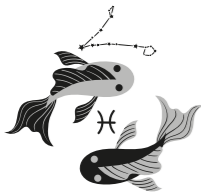


やら ともはる 屋良 朝春 議員

星座 うお座

血液型 O型

居住地 渡口



**問** 多くの子育て世代に困った時は#8000というのを周知すべきと考える。役場庁舎内でも目につくところへのポスター掲示や村のLINE公式アカウント、子ども救急ハンドブックにも付け加えること

**答** 子どもが発熱した場合、電話で保健師や医師が対応しアドバイスをする事業。平日が19時から翌朝の8時まで、土日・祝日24時間対応になっている。

**問** 現在ネットで夜間小児科外来を検索すると、那覇市立病院か南部医療センターしかなく#8000を利用することによって医療機関の負担軽減ができません。そのことについてはご存じか。

とを提案する。県が第8次医療計画で、中部病院に小児科救急を計画している。誰でも24時間安心して医療にかかることのできる医療体制を確立させるためにも、我が村や近隣市町村を含めて#8000の周知が必要と考えている。#8000の周知方法はどう考えるか。



#8000の周知ポスター

**答** 出産前後や訪問時に配布しているハンドブックの中に#8000についての相談窓口があると記載されており、小児科医の負担軽減を図る意味でなるべく自分たちで解決出来るように説明も十分にしている。

**問** 村が管理する街灯は、集落内の防犯灯など自治体管理などのもので把握しているものは709基あります。年2回を基本とし、台風通過後に実施している。分電盤の中の確認は基本的にやっていない。過去に遡って点検を実施したか確認出来るところはない。点検するにも費用がかかり

**答** 全部で181基です。費用がかかるなら、国土強靱化事業の補助金を活用して、今後の災害に備えてもらいたい。

**問** 村の街灯点検は十分か

**答** 国土強靱化もそうですが、今いろいろな設備の中でLEDなどの長寿命化の取組みをしている。

詳細は動画からチェック!

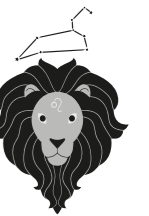


ひが よしひろ 比嘉 義弘 議員

星座 しし座

血液型 A型

居住地 喜舎場



# 喜舎場地区の地滑り区域に関して

■ 村長 地滑り対策事業については県が主体

**問** あやかりの杜からEMホテルまでのアスファルトの村道が気になる。アスファルトの道路が上から下に割れ目ができ始め、今でははつきりと目立っている。決して危険性を煽るつもりではない。あやかりの杜あたりからEMホテルまでの村道やその周辺を定期的にパトロールされているのか。



EMホテル近くの村道アスファルトの割れ目

**問** その周辺は喜舎場の地滑り区域と言われているが、県の管轄なのか。

**答** 地滑り対策事業については、県が主体となっている。

**問** 放置車両は

**答** これまで何度か取り上げてきたが、依然として処理されていない。車両番号もはっきりしているが所有者には、連絡はついているのか。

**問** その放置された車両は、村当局が勝手に動かせるか。

**答** 現在調査中のため、まだ所有者へ連絡は行っていない。

**問** 勝手に動かすことは出来ない。

**答** 法的(条例)に動かさないか。

**問** 村の\*放置自動車の発生防止及び適正な処理に関する条例に基づき、撤去は可能か。

**答** 村の\*放置自動車の発生防止及び適正な処理に関する条例に基づき、撤去は可能か。

**問** 中部広域都市計画への移行等に関して

**答** 中部広域都市計画区域に移行した場合、現行に比べて開発規制が緩くなることから、無秩序な開発が増加することが懸念される。

**問** 中城城跡のことで、以前は収支5対5で分け合っていたようですが、

**答** 面積按分で、中城村9、北中城村1の割合となっている。

**問** その理由が分かれば、説明を求めます。

**答** 中城城跡の管理協議会で決められたものであり、その資料が管理協議会にも残されていない。

**用語説明**  
※放置自動車の発生防止及び適正な処理に関する条例とは、放置自動車の発生防止及び適正な処理に必要事項を定めることにより、村の自然環境及び快適な生活環境の維持を図ることを目的とする。

**用語説明**  
※#8000とは、子ども緊急電話相談のことです。小さなお子さんを持つ保護者の皆さんの不安を軽減するため、子どもの急な病気(発熱、下痢、嘔吐、けいれん等)、ケガに関する相談に対し、経験豊かな看護師、または必要に応じて小児科医がアドバイスをする平日夜間・休日の電話相談サービス。





詳細は動画からチェック!

# 学校における性教育は極めて重要

## 教育長 発達段階に応じた性教育を実施していく

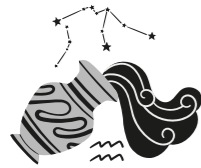


へんざん かずみ 平安山 和美 議員

星座 みずがめ座

血液型 A型

居住地 安谷屋



### 用語説明

※若年妊娠とは、20歳未満の妊娠を若年妊娠と定義している。若年者の妊娠は、本人が望むか否かに関わらず本人と周囲の人々に大きな影響を与える。

**問** 「予期せぬ妊娠」を防止するために、学校における性教育は極めて重要だと考える。

**答** 性教育については重要であると認識している。今後も生徒の発達段階に応じた性教育を実施していく必要があると考える。

**問** 妊娠をめぐる状況は女子にとって圧倒的に不利。心のケアと併せて社会制度や性教育の整備が急がれる。本村における直近5年間の※若年妊娠と出産の実態について伺う。

不安なあなたの味方です  
～沖縄県 若年にんしんSOS～

もしかして妊娠・・・?  
○誰にもいえない・・・  
○お金がない・・・  
○どうしたらいいかわからない・・・

あなたに妊娠検査薬を届けます (無料)  
産婦人科の病院に付き添います (自己負担なし)  
産む・産まない 育てられない・・・ すべてに命によりそいます

※この事業は 沖縄県からの委託・運営事業です。  
一般社団法人 おきなわ子ども未来ネットワーク  
(電話) 098-989-7301  
MAIL: okinawamirai@now.ocn.ne.jp

LINEQRコード

### 沖縄県 若年にんしんSOS の案内

「10代20代の女性の避妊に関する相談支援事業」が加わったが、本村の取り組みと実績について伺う。

**問** 男女共同参画の視点から、男女が等しく生きる権利が保障されている社会の実現のために、本村においてもしっかり事業計画を立ててほしい。

**問** 現場の教師達は、早いうちから性教育が必要だと感じている。また、19歳以下の県内の若年妊娠の出生数は年間400件。子どもを守るために中学終了までには、一定レベルの性教育が必須だと強調されているが。

**問** 内閣府が実施する「沖縄の子ども貧困緊急対策事業」で、新たに

**問** 相談事業とは、LINEやメールで社会福祉士等の専門家が対応する。また、避妊リング等にも対応している。村民への周知はされたのか。

**答** 事業として始まったばかりなので、今後の課題として周知に取り組んでいく。

**問** 第2しまぶく学童クラブ(定員35人)の暫定措置について。



第2しまぶく学童クラブ

**問** 中学生通学バスについて全村を網羅した計画進捗状況は。

**問** 幼稚園バスの安全安心と、万が一事件事故の際の対策対応が大変危惧されるが具体的な取組みは。

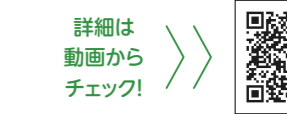
**問** 子ども達の安全安心と女性の職場、日々のサポート体制は

## 第2しまぶく学童クラブの暫定措置とは

※隠れ待機児童が1番の問題

**問** 保育ニーズを踏まえ、今後の具体的な対策対応について、隠れ待機児童が一番の問題でカウントされるか。

**答** 幼稚園バスの安全安心については置き去り防止装置取付けを今年度行う予定。女性でも使える催涙スプレーを配備、通報ボタンを押すだけで110番へ緊急通報する非常通報装置の導入検討を行っている。サポート体制は近隣施設との連携対応や、不審者対応訓練へ参加、不審者対応へ指導など行っている。令和3年度各学校、園も含めて学校危機管理マニュアル見直し作成するようにガイドラインが出ました。まずは最優先で子どもを逃がす、それに加えて先生方も絶対に身を挺して抑え込みに行かないように指導徹底して全ての学校に通知している。



詳細は動画からチェック!

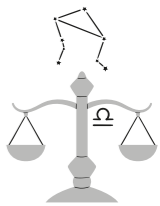


やまだ はるのり 山田 晴憲 議員

星座 てんびん座

血液型 O型

居住地 島袋



### 用語説明

※隠れ待機児童とは、保育園に入園を希望しても入れなかったのに待機児童の対象に含まれない児童のこと。待機児童に該当しない理由に、特定の保育園を希望している、保護者が求職活動を休止している等の理由がある。



かわかみ りょうた  
**川上 龍太 議員**

星座 やぎ座  
血液型 O型  
居住地 大城



## NFTを活用した新たな地方創生を

■ 村長 大変いいアイデア、前向きに考えたい

**問** 近年、一般的に聞かれるようになってきている\* NFT。この技術を活用して、本部町は地域の特色を織り込んだ作品、シリアルナンバード入りの泡盛を購入できる権利などを販売。その売り上げの一部は、本部町に寄附されることから、新たな財源を確保できる仕組みとなる。そこで、本村でも人を呼び、資金を生み出す新たな地方創生ができないか提案する。

**答** 例えば、ふるさと納税の返礼品として北中城村デジタル会員証を発行し、本村の現有財産を活用。特典をつけて価値のあるものとして評価、購入されれば、資金循環が生まれ地方創生につながるもの。他の自治体の事例も参考に検討する。

**問** 北中城村に合ったやり方でも、デジタル



近年、注目を集めるNFT

乗車でき、中城城跡・中村家を観光して北中城村に足を運んでもらうところも展開できるが。

**問** 大変いいアイデアだと思う。その事例だけではなく、EMホテル等の商品、あるいはそこにリピーターが入ってくるようなシステムがあると思う。前向きに考えたい。

**答** 今までのふるさと納税は物や農産物、高騰でマイナスイメージがあることも予想される。物を売るといよりは、北中城村に足を運んで頂いて、体験や観光を返礼品とする事はどうか。

**問** 今ふるさと納税でもマグロ釣りやEMホテルのSPA体験ツアーもあるが、ぜひ研究しながら今後検討したい。

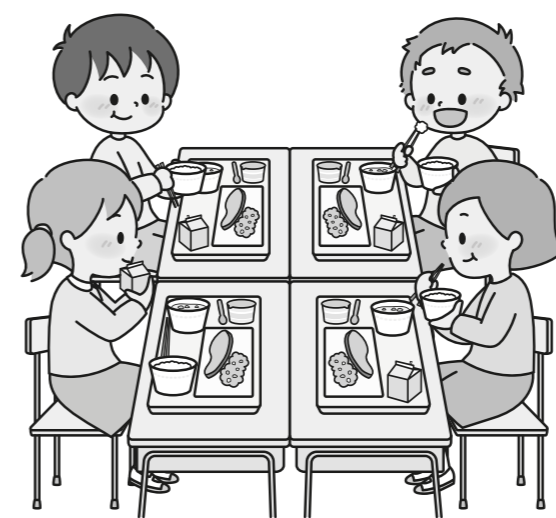
**問** 給食費は現在、半額補助、準要保護世帯へ全額補助を実施しているが消費税の引上げ、食材価格上昇があり、栄養価を満たす献立の作成が難しい状況にあったと聞いている。6月頃、量が少なくなったり、部活動をしている子はおにぎりを持参して対応しているとお聞きしたが、給食の量が減ったのは事実か。

**答** 品数は減ったが、エネルギー量が減ることはなかったと考えている。

■その他に、小中学校の部活動スポーツ団について質問をしました。

**問** 村長が公約に掲げた学校給食費の無償化はどのように考えているのか。

**答** 村で給食費の半額補助と併せて準要保護世帯への全額補助を実施している。最近の物価高騰の影響により食材費が増加し給食費では賄うことができず、その差額分についても補填している状況である。令和6年度からの給食費無償化は財源などの面から厳しい状況だが、国や県の動向、次年度の交付金の有無を見極めながら私の公約である給食費無償化実現に向けて取り組んでいく。



学校給食費無償化の実施を

**問** 確かに高額であると思う。村政を引き継いだ後、財政運営に関する課題にはどういったものがあったのか。これは財政問題だと思える。

**答** 一挙にまた増額ということは、大変な財政負担があり段階的にやっていくとか、無償化については、県知事の公約でもあり、中部市町村会でも県知事と

**問** 給食費の半額補助は、小中学校合わせて対象人数と要保護児童・生徒を合わせた数と費用は。

**答** 全児童生徒数が1,290人、令和4年度実績で2,745万6,000円の半額補助を行っている。要保護・準要保護の人数が414人で補助額1,901万4,000円になっている。

**問** 子どもが貧困化して家庭の中で1日分の栄養が摂れなくて不足している子もいる。せめて1食は栄養士による栄養を賄ってほしいとの思いがある。お金がなかなか工面できないというのがあるのか。

**答** 背景には、解決すべき事業がある。アーリーナ問題、用地取得事業これに対する資金準備がまだまだ十分でないということもあり、ご理解してほしい。

**問** ルートの拡大と運行時間の見直しは。

**答** 観光周遊バス実証実験について伺う

**問** 今年度運行ルート、時間帯を含む見直しを再検討している。

**答** 北中城・普天間高校、その他通学する高校生へ利便性を図ってほしいが。

**問** 早便の時間帯、大幅なルート変更になることなど、運営費用も含め検討していく。

■その他に、鳥袋地区の上原山の土砂災害、昼食時間(窓口業務)の業務拡大について質問をしました。



きやん すまこ  
**喜屋武 すま子 議員**

星座 みずがめ座  
血液型 A型  
居住地 鳥袋



## 学校給食費無償化の実施を

■ 村長 国や県の動向等を見極めながら取り組んでいく

**用語説明**  
※観光周遊バスとは、本村では「ブスクめぐるん」の愛称で知られるコミュニティバス。喜舎場廻り、鳥袋廻りの2ルートがあり、各ルートとも1日6便が年中無休で運行している。

表紙  
隠し文字サステイナブル  
デ  
プログレッ  
ブ  
イニ  
シエ  
ワカテイダ ヲ ノミ  
セイチョウ ハツテンル  
デンエンブンカ ムラ  
キタナカグスクリン

答え!

ミナ  
シ  
ワ  
セイ  
ムラ  
ミナノ シアワセ イル ムラ議長  
の  
部屋

## 令和5年9月定例議会を振り返って

9月定例議会(決算議会)で上程された決算書は、令和4年4月1日～令和5年3月31日までに執行した事業の歳入・歳出審査が主である。一般会計については、決算審査特別委員会を設置し議長を除く全議員で審査、特別会計については、所管する常任委員会で審査した。結果、今回は指摘事項もなく全ての決算書が全会一致で認定された。

実は、昨年(令和4年)の9月定例議会においては、3年連続同様な指摘事項があり早々に改善策を講じて対処するよう附帯意見を付して認定した経緯がある。

その附帯意見に対して当局は直ちに改善に取り組んだことを文書で議会へ報告があった。これまで何度か附帯意見を付して認定したことがあるが、議会へ報告書が提出されたことは私の記憶では一度もなく今回が初めてである。

議会で指摘された事項について早々に改善策を講じたことが今回の結果に繋がったのでしよう。これからもしっかりと監視をしていきたい。

北中城村議会議長  
比嘉 義彦

## 議会の主な動き(6月～8月)

- ・北中城村交通安全推進協議会(6月5日)
- ・中城北中城消防組合臨時議会(6月6日)
- ・一般社団法人北中城村シルバー人材センター定期総会(6月7日)
- ・沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集い(6月8日)
- ・第4回6月定例議会(6月9日～20日)
- ・一般社団法人北中城村観光協会定時総会(6月15日)
- ・第39回ふれあいクリーンアップ大作戦(6月18日)
- ・沖縄全戦没者追悼式(6月23日)
- ・沖縄県緑化推進委員会北中城村支部定期総会(6月30日)
- ・北中城村商工会の「地元産品奨励及び地元企業優先使用」の要請受け入れ(7月3日)
- ・北中城村育英会理事会(7月3日)
- ・農を活かした健康・福祉の里づくり推進事業第一段階予定地安全祈願地鎮祭(7月4日)
- ・令和5年度北中城村青少年育成村民大会(7月6日)
- ・第5回7月臨時議会(7月12日)
- ・中城北中城共同まちづくり住民説明会(7月21日)
- ・第27回しまくとぅば語やびら大会(7月22日)
- ・中城北中城消防組合消防庁舎建設事業安全祈願祭(7月26日)
- ・中城北中城消防組合臨時議会(7月27日)
- ・葛巻町青少年姉妹町村訪問研修団歓迎会(8月7日)
- ・沖縄県商工会連合会設立50周年記念事業「地域経済活性化サミット」(8月9日)
- ・宜野座村議会議員行政視察研修受け入れ(8月18日)
- ・北中城村都市計画審議会(8月31日) など

## 編集後記

北中城村議会だよりをいつもご覧いただきありがとうございます。とうとう107号です。私達議会広報調査特別委員会は、村議会を振り返り、その内容を村民の皆さまにお伝えする大切な役割を担っています。村議会でのような課題が取り上げられ、どう議論されたかをありのまま編集し、内容もできるだけ分かりやすくお伝えできるように作業に取り組んでいます。中には、「デザインが良くなったね」「読みやすくなった」などの嬉しい声も寄せられ、皆さまの声が私達の励みに繋がっております。

この議会だよりを通じて、村議会をもっと身近に感じていただき、北中城村をより良い村へ皆さまと一緒に築き上げていきたいと思っておりますので、ご意見・ご要望がありましたら、いつでも村議会議員・議会事務局へご連絡ください。

今後とも、ご愛読の程よろしくお願ひ申し上げます。

委員 川上龍太